

市内小学校に勤務する教職員の皆様へ

度重なる休校等の措置により、学校で勤務する教職員の仕事に対する意識も、これまでの教育活動の在り方等についても、以前とは大きな違いが生じてきているように推察しています。極めてたいへんな状況での勤務とは言え、教職員の働き方について改めて見直して考えていく機会を与えられたことは、絶好の機会ととらえています。

今後「忙しすぎる学校」からの転換を図るため、さまざまな教育活動の見直しを進めることで、学校間にも大きな違いが生じる可能性も高いでしょう。

子どもたちを取り巻く環境の中には、教職員だけでなく保護者・地域の方々の存在もあり、教職員の思いだけではなかなか学校を変えられないという現実があります。

このような状況の中で、昭和の時代の学校に後戻りすることなく、どのように進めていけば、「忙しすぎる学校」からの転換が可能なのかを考えていかねばなりません。

当校での4年間のチャレンジをもとに、学校現場の働き方改革をどう進めていけばよいのか、その内容をお伝えするとともに、これからの学校づくりについて一緒に考えてみませんか？

働き方改革を推進しながら「本当に学校を変えたい」と心に秘めている教職員の皆さん。

ぜひご参加ください。
お待ちしております。

新潟市立白山小学校
校長 高橋 昌利

市内小学校に勤務する教職員の皆様へ

度重なる休校等の措置により、学校で勤務する教職員の仕事に対する意識も、これまでの教育活動の在り方等についても、以前とは大きな違いが生じてきているように推察しています。極めてたいへんな状況での勤務とは言え、教職員の働き方について改めて見直して考えていく機会を与えられたことは、絶好の機会ととらえています。

今後「忙しすぎる学校」からの転換を図るため、さまざまな教育活動の見直しを進めることで、学校間にも大きな違いが生じる可能性も高いでしょう。

子どもたちを取り巻く環境の中には、教職員だけでなく保護者・地域の方々の存在もあり、教職員の思いだけではなかなか学校を変えられないという現実があります。

このような状況の中で、昭和の時代の学校に後戻りすることなく、どのように進めていけば、「忙しすぎる学校」からの転換が可能なのかを考えていかねばなりません。

当校での4年間のチャレンジをもとに、学校現場の働き方改革をどう進めていけばよいのか、その内容をお伝えするとともに、これからの学校づくりについて一緒に考えてみませんか？

働き方改革を推進しながら「本当に学校を変えたい」と心に秘めている教職員の皆さん。

ぜひご参加ください。
お待ちしております。

新潟市立白山小学校
校長 高橋 昌利